

平成18年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,656	5,656	-	
施設整備費補助金	388	388	-	
補助金等収入	27	27	-	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	31	31	-	
自己収入	13,106	13,448	342	
授業料、入学料及び検定料収入	609	610	1	
附属病院収入	12,465	12,780	315	(注1)
雑収入	32	58	26	(注2)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	639	1,090	451	(注3)
長期借入金	2,506	2,506	-	
承継剰余金	33	5	△ 28	(注4)
目的積立金取崩	77	-	△ 77	(注5)
計	22,463	23,151	688	
支出				
業務費	16,205	16,285	80	(注6)
教育研究経費	4,787	4,658	△ 129	
診療経費	11,418	11,627	209	
一般管理費	1,620	1,322	△ 298	(注7)
施設整備費	2,925	2,925	-	
補助金等	27	25	△ 2	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	639	1,003	364	(注8)
長期借入金償還金	1,047	1,054	7	(注9)
計	22,463	22,614	151	
収入-支出	-	537	537	

○予算と決算の差異について

- (注1) 附属病院収入については、請求保留レセプト（公費負担の申請手続き中のもの等）の減少等により、予算金額に比して決算金額が315百万円多額となっています。
- (注2) 雑収入については、消費税の還付（4百万円）、固定資産税の還付（2百万円）、有価証券利息（3百万円）及び損害保険金（7百万円）の受領等により、予算金額に比して決算金額が26百万円多額となっています。
- (注3) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究及び寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が451百万円多額となっています。
- (注4) 承継剰余金については、予算段階で予定していた支払いが翌期以降となったため、予算金額に比して決算金額が28百万円少額となっています。
- (注5) 目的積立金取崩については、平成18年度における自己収入により実施したため、予算金額に比して決算金額が77百万円少額となっています。
- (注6) 業務費については、経費の節減等に努めましたが、附属病院収入の増に伴う診療経費の増加及び医療機械の更新等により、予算金額に比して決算金額が80百万円多額となっています。
- (注7) 一般管理費については、承継された職員に係る退職手当の減（204百万円）及び承継剰余金による支払い28百万円が発生しなかったことにより、予算金額に比して決算金額が298百万円少額となっています。
- (注8) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が364百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金償還金については、借入金の利率及び借入日の変更により、予算金額に比して決算金額が7百万円多額となっています。